

北海学園大学学報
発行・編集 北海学園大学
札幌市豊平区旭町4丁目
1番40号 〒062-8605
電話 011(841)1161
FAX 011(824)3141
URL http://hgu.jp/
gakuho@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp
発行日 6月1日、9月1日、
12月1日、3月15日
購読料 1部80円 年間320円
制作・印刷 株式会社人人社

開発研究所60周年記念シンポジウム

ミッションが組織と社会を変える

～ドラッカーから生活協同組合まで～

営利・非営利を超えて「使命」とは

経済・社会面において北海道の発展に寄与することを目的に1957年、上原敏三郎初代学長によって開設された本学開発研究所が、60周年を迎えた。これを記念して7月15日、田中弥生氏(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 特任教授)と大見英明氏(生活協同組合コープさっぽろ理事長)を迎えて、「ミッションが組織と社会を変える」ドラッカーから生活協同組合まで」と題したシンポジウムがD30教室で開催された。

経営学者ドラッカーは、その起点となった組織の一つとして、営利組織(企業)は、非営利組織(NPO)の経営者や従業員を突き動かす「組織にとってのミッション」の重要性にもっと目を見開くべきと訴えた。現在、営利と非営利を架橋する経営形態や生き方、仕事の仕方が注目されているが、日本において

開会にあたって
学長 安酸 敏眞
キリスト教にはミッションスクールがありますが、「ミッション(mission)」という言葉はラテン語のmittre(ミッター)、mittere(ミッテリ)から来ており、「派遣する」という意味です。つまり、「ミッション」とは特別な使命をもって送られることで、営利、非営利を超えた崇高な使命があります。
今日、大学では授業料の徴収は当たり前ですが、福沢諭吉の書いた本によりますと慶應義塾を創立した当時、学生は無料で学び、教師は無報酬で教えていたそうです。学生

ミッションスクールたれ

北海学園は1957年の歴史がありますが、その土台となる北海英語学校が1932年前に設立された時、果たして創設者たちは営利を目的としてこの学校を建てたのでしょうか。そうではなく、もっと崇高な使命、つまりその時代の負託を受け、「ミッション」を全うするために学校を設立したのです。
我々は時代を超え、組織や社会、そして大学における「ミッション」を改めて考えなければなりません。

主な記事

安酸敏眞学長「学長室からの光景」	2面
北海学園学術研究助成事業報告② 経営学部小島康次教授	3面
市民公開講座「未来を創る生命工学の最前線」	4面
特集「いま出前講義がおもしろい！」	5面
学内人脈記第1回 宮崎文彦氏	7面
新研究科長に聞く！ 河崎秋子	8面
ニュージブラルランド留学体験記② 嶋崎秋子	9面
就活情報「後半戦で本当の実力発揮へ」	10面



田中 弥生 氏
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 特任教授

その原点を探るためにはドラッカーの生い立ちを遡らなければなりません。
ドラッカー



大見 英明 氏
生活協同組合コープさっぽろ理事長

せいで、牛乳パック回収(非営利事業)からエコリサイクル事業(営利事業)まで、年間4億円の事業に

ドラッカーとミッション

ドラッカーは「無関心の罪」と言いました。最大の罪は「無関心の罪」だと言いました。そして、ナチス政権は議会制民主主義から生まれ、だれもがファシズムに陥る危険性があると警鐘をならしたのです。
ドラッカーの「望ましい社会像」とは、「一人ひとりが位置と役割をもつ自由社会」です。

「無関心の罪」とは、21世紀の最大の罪は「無関心の罪」だと言いました。最大の罪は「無関心の罪」だと言いました。そして、ナチス政権は議会制民主主義から生まれ、だれもがファシズムに陥る危険性があると警鐘をならしたのです。
ドラッカーの「望ましい社会像」とは、「一人ひとりが位置と役割をもつ自由社会」です。



大見 英明 氏
生活協同組合コープさっぽろ理事長

コープさっぽろは、創立50周年事業としてブランドリニューアルプロジェクトを立ち上げ、職員に、あなたはなぜコープさっぽろに毎日通勤しているのか文章を募集し、それをもとにミッションの再定義を行いました。

コープさっぽろとミッション

コープさっぽろは、創立50周年事業としてブランドリニューアルプロジェクトを立ち上げ、職員に、あなたはなぜコープさっぽろに毎日通勤しているのか文章を募集し、それをもとにミッションの再定義を行いました。

コープさっぽろとミッション

コープさっぽろは、創立50周年事業としてブランドリニューアルプロジェクトを立ち上げ、職員に、あなたはなぜコープさっぽろに毎日通勤しているのか文章を募集し、それをもとにミッションの再定義を行いました。

パネルディスカッション

パネリスト
田中 弥生 教授
大見 英明 理事長
大平 義隆 経営学部教授
モデレーター
樽見 弘紀 開発研究所長

様々な研究者たちの共通の目標をつくるというのはいささか難しい。さらに、大学組織ではいろいろな委員会をつくりますが、責任と権限が明確でないところがあり、その中で共通のミッションを掲げて行動することは難しいことだと思えます。
大見理事長 大学も競争社会のなかの一つの組織です。その中で大学が生き残るためには、どのような競争戦略をもつべきかという前提がないと難しいと思えます。
大平 ミッションは、皆が共有してはじめて意味を持つというところですが、コープさっぽろでは、どのように共有するのですか。
大見 地域の組合員さんの代表が1000人以上いて年に2回全体会議を行います。そこでさまざまな要望が出てきて、それらを積極的に実現しています。代表の方々は皆生活者ですので、生活上の問題解決をコープに期待しているわけですね。
樽見 組織論的にいうと、非営利というのは儲けられない組織ではなくて儲ける組織です。ただ儲けを売上げとか収益のような経営のシグナルになるものがないため、危機感を共有しにくいのだと思います。大学の中から見ると、大学にはいろいろな学部があるって、それぞれ研究の観点や目標が違います。その多

置と役割をもつ自由社会」です。その構成条件は自由政府、自治、そして企業社会の役割です。マネジメント論は、この企業(経済、コミュニティ)の運営のあり方の追求として生まれました。
また、ドラッカーの非営利組織論は、1942年の著書において、戦後の望ましい社会像の大きな条件として掲げられています。80年代になると企業コミュニティは幻想だったと述べるようになって、知識社会の到来にともなう、非営利組織に新しいコミュニティの役割を期待します。その役割の一つは社会的課題の解決。もう一つは市民性創造で、寄付やボランティアを通じて社会参加です。この二つのミッションを果たしてこそ非営利組織だと述べています。
ドラッカーの思想の原点に立ち返り、私たちは「無関心の罪」を犯していないか、と改めて問いかけてみたいと思えます。

の未来組織になり得るのでしょうか。
田中 オークストラは、「一つの曲」があつてそれにむけて良い演奏をするという共通の目標があります。大学における「一つの曲」を「輩出したい人材像」とし、「教育」でそれができるのではないのでしょうか。全学的に議論して、何を教えたいのか、どこを強化するのか、それぞれの分野によって役割分担があると思えます。
大平 我々は「一つの曲」が何なのかを見つけていかなければなりません。一つの方法として考えられるのは、提案です。みんなに提案させ、ステップを踏んで、合意の中でそれらの中から選んでいくという方法です。
大見 教育の一方で、大学は研究機関でもあり、個々に研究が行われていると思えますが、大学として大テーマを設定し、全学的に分野を超えてそのテーマを研究することも必要だと思えます。
樽見 まさに開発研究所の役割ですね。最後に一言。
大見 協同組合の価値を最大化できるように引き続き考えながら、社会に貢献していきたいと思えます。
田中 いま社会は大きく変化しており、ドラッカーはそれが2020年くらいまで続くと言っていました。奇しくも当たっています。ドラッカーが言っていた「無関心の罪」は、今の日本の社会の中に蔓延しているような気がします。あの時に人々が犯した過ちを、もう一度、この時代に照らしあわせてみる時期にきているのではないのでしょうか。



大学のミッションを見つめ直す

右から、大見英明氏、田中弥生氏、経営学部大平義隆教授、開発研究所長樽見弘紀教授
我々は北海道で、そこに住む人たちのために事業を行って行きますので、そういう声に耳を傾け、具体的に実現することがミッションです。
樽見 組織論的にいうと、非営利というのは儲けられない組織ではなくて儲ける組織です。ただ儲けを売上げとか収益のような経営のシグナルになるものがないため、危機感を共有しにくいのだと思います。大学の中から見ると、大学にはいろいろな学部があるって、それぞれ研究の観点や目標が違います。その多

学長室から

学長に就任してから4カ月以上が経過したが、学長室から見える景色は、これまで一般教員として目にしてきた光景と大きく異なる。学長室は1号館1階の事務部の奥にあり、通常、学生の目に触れることはほとんどない。いわば事務部の「奥の院」といってもよい。学長室はその真向かいにある7号館8階の研究室と、あらゆる点において真逆である。しかしわたしが言いたいのはそういうことではない。むしろ精神的・比喩的な意味での景色ないし光景についてである。

学長室からの光景

源においては国家や教会に依存せず、校舎や施設をも前提としない、自由で自律的な真理探究と知識交換の場であった。そのような自由なコミュニケーション行為としての大学は、巨大化し、組織化され企業化された現代の大学とはかけ離れているが、この点は大学の原点として忘れられてはならないであろう。

と云うと、今述べたことと矛盾するようであるが、現代における大学は、教師でも学生でもない、いわゆる経営者や事務職員と呼ばれる人々の存在と動きなしには存立しない。ガバナンスとかマネジメントといった要素は、現代における大学という制度の根幹を形成する。また、現代の大学は、現代の社会を形成する重要な要素として位置づけられている。恥ずかしながら、わたし自身は「奥の院」に身を置いてみて初めてこのことを真に実感した。

学長はいわば荒海を航海する大型客船の船長のような立場であって、自らが操舵輪を手にすることは滅多にないといえ、安全かつ快適に航行して、目的地まで乗客を無事に運ぶために、いささかの油断も許されない。乗客乗員の安全と生命はすべて艦長の判断に懸かっているからである。学長室に掲げられている上原敏三初代学長の肖像画を毎日眺めながら、はたして自分が学長の任に堪え得るかどうか自問自答の日々である。いずれは大学史の一頁としていくらの役目を自覚しながら、「一日の苦勞は、その一日だけで十分である」を座右の銘としながら、日々その務めに励んでいる次第である。

【学長 安酸敏真】

人文学部教授 徳永 良次



無類の食通であると言いたい。ただの食いしん坊である。そして専門が日本語の



コレクションの著袋

トピックス48

読めない日本語

は「おてしと」と読めるけれども、右側ふたつは読めない人も多いと思う。これは右から、

楚・者・處 (ちよ・しや・ぢよ)

御手茂登 (おんてまう)

よめる。この内、傍点を

付けた文字は、現在では使われていないため「変体仮名」という名称を与えられているが、およそ200年近くある仮名の歴史ではむしろ普通に使用されていた。現行の仮名に統一されたのが、明治33年(1900年)であるから、また約100年の歴史しかない、一音一字の仮名は歴史の専門に關連づけられる。古代日本文化や言語を知りたい、活字化された資料ばかりをどきどき眺めても、本質に近づくとはいえない。まして「百聞は一見にしかず」とある。

こんな事をいつら書き綴っていたら、無性にうまい蕎麦が食べたくなった。これだから、いつまでも食いしん坊のままである。

ANAビジネスと教育連携協定



調印式にてANAビジネスソリューション株式会社・矢澤潤子代表取締役社長(中央)、同研修事業部長・石山由美香氏(左)、安酸敏真学長

航空業界志望学生の就職支援を強化

本学は、ANAグループのANAビジネスソリューション株式会社(本社・東京都港区)と8月2日、教育連携協定を締結した。調印式は本学7号館行動科学実験室で執り行われ、矢澤潤子代表取締役社長と安酸敏真学長が協定書に押印した。

ANAビジネスソリューションは客室乗務員などを対象に教育を目指すANAエアラインスクールを開講しており、この協定により本学学生は札幌地区で開催する「ANAエアラインスクール」短期集中コース、キャリアビンアテンダントベーシックコース、およびグランドスタッフベーシックコースの優待受講制度を活用することが可能となった。

本学はこの産学連携で、航空業界を志望する学生を対象に実践的に学んでいく。

ANAグループは、英国SKYTRAX(スカイトラック)社のワールド・エアライン・レーティングにおいて、5年連続で世界最高評価「5スター」を獲得。ANAエアラインスクールは、ANAの現役キャリアビンアテンダントなどが指導にあたり、「おもてなしの心」と高い実践力を育成している。

キャリアビンアテンダントベーシックコースは、社会人基礎力、接遇力を学ぶコースで、言葉遣いや立ち居振舞いなど接遇の基本を身につけていく。グランドスタッフベーシックコースは、空港のカウンターなど旅客のチェックインや案内・誘導などの業務を行うグランドスタッフを志望する学生を対象に実践的に学んでいく。

研究室の窓

経済学部准教授 北原 寛子



ニュンフェンベルク城(ミュンヘン)にて

私の研究対象は、十八世紀ドイツの小説理論です。「小説」Romanという言葉は、十七世紀後半にフランスからドイツ語圏に伝わりました。まもなく、それまで「民衆本」や「騎士物語」などと呼ばれていた散文の作品が、小説の名のもとに集約されるようになりました。小説は人気があった。小説は人気があった。変化が長期にわたって起こったという考えこそが、私は

十八世紀ドイツ小説の謎

自分の研究の独自な点だと信じています。なぜなら従来の定説では、ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』(一七九五-一七九六年)が若者の自己陶冶の問題を扱ったことで、小説が精神的な深淵に達し、ドイツ近代小説の起点となったとしていたからです。

しかし芸術としての小説



授与式には、給付学生9名と学長、各学部長、教育振興委員長、事務部長、大学院事務部長が出席

教育振興会

学業優秀生へ奨学金授与

7月25日、教育振興会は奨学金B(学業成績が特に優れている学生への奨学金)の授与式を挙行し、9人に賞状を授与しました。教育振興会の趣旨に賛同する多くの方々からの芳志により、今年も1人あたり30万円を給付することができました。

賞状の文面は以下の通り。学生の自分を守り勉勵に努め学業成績が特に優れていることを讃えて、奨学金を授与する。本学が建学の精神と定めた開拓者精神の担い手となるべく、さらに精励することを期待する。

学部/学科	学年	氏名
経済学部/経済学科	4年	ウオン・イン・ジョバン
経済学部/地域経済学科	4年	仕子 風馬
経営学部/経営学科	4年	荒川 貴史
経営学部/経営学科	4年	橋本昇二郎
法学部/法律学科	4年	山本 蓮希
法学部/政治学科	4年	工藤 健人
人文学部/日本文学	4年	敦澤 謙
人文学部/日本文学	4年	前田 曜
工学部/建築学科	4年	加藤 弦生

実験生物に感謝する日

7月21日、工学部3号館ゼミナール室において、学内関係教職員、学生が参加して、生命工学科の実験・実習に供された実験生物に対する感謝と追悼の意を表する会が行われた。

生命工学科・高橋考太教授の開会の挨拶のあと、安酸敏真学長から感謝の言葉が述べられた。参加者全員で黙祷を捧げ、実験生物の冥福を祈ると共に、研究・教育の発



実験生物に黙祷を捧げ改めて研究・教育への従事を誓った

訃報

元法学部教授 斧 泰彦(おの やすひこ)先生(85歳)が平成29年6月17日に逝去されました。昭和44年同論説副主幹、昭和58年同論説副主幹、昭和62年北京支局長、平成3年本学法学部教授、平成15年3月退職

学文学部文学科卒、昭和31年同大学院文学研究科東洋哲学専攻修士課程中退、昭和54年朝日新聞社論説委員、昭和58年同論説副主幹、昭和62年北京支局長、平成3年本学法学部教授、平成15年3月退職

北海学園学術研究助成事業報告 ②

青年期の健康に関する実証的研究
—心理・身体・社会から

経営学部教授 小島 康次



岩見沢市生まれ。北海道大学大学院教育学研究科博士(後期課程単位取得退学)。教育学修士(北海道大学)。専門は認知発達心理学。研究テーマは、精神発達(ナラトロジー(語り)とダイナミカルシステム論。平成27年度北海学園学術研究助成を受ける。

近年、わが国は、高齢化・長寿化を迎え、日常生活において健康の問題が重要な課題となってきた。また、個人は、仕事や人間関係の上で様々なストレスに遭遇する、いわゆる「ストレス社会」の中で生活している。このような状況の中で、

身体的要因と心理的要因のストレス

心と体の「健康」はこれまでとは比較にならないほど重要視されるようになってきた。WHO(世界保健機構)は人間の健康を「身体」と「精神」と「社会」の3つがバランスよく維持されることと捉え、それが達成された状態をwellness(健康)と定義し、それを基本的人権の一つであるとした。

カリフォルニア大学のロスレー教授は、健康のための7か条(1 睡眠時間の確保)を挙げて話している。このうち、

1. ストレスを増大させる身体的要因の同定、すなわち食事、睡眠、運動を不規則にする生活上の問題と対処法。
2. ストレスを増大させる心理的要因の同定、すなわち、レクリエーションや趣味をもつこと、

ストレス・マネジメントとして重要なことは、まず自分自身のストレスについて理解することである。ストレスについて理解することは、ストレスに適切に対処する上で最初のステップになる。自分にとってのストレスは何か、どのような状況でストレスが高まり、心理的不調が生じるのかを知ることが大切である。これは、ストレスの内容、程度によって、それがどのような不調をもたらすかに大きな個人差があることによる。

次に、ストレスはすべて自分で意識化できるものではないということである。生活上の変化はポジティブな事柄(合格、就職、結婚、昇進)としても生じるのであり、自分では気付かない大きなストレスとなつて心理的健康を損なう原因となる場合もある。

この適正な執行並びに事務の取扱いについて周知徹底を図るため、東京・大阪をはじめ全国7会場で行われる。本学は札幌会場として平成20年以来10回目の開催となった。

説明会は、1日目は午後から基礎編として、補助金制度の概要と事務の流れ及び補助金計算の仕組みについて、

2日目は実践編として、午前中に私立大学等の振興方策の現状等、午後からは一般補助・特別補助及び私立学校等改革総合支援事業の平成29年度の変更点と申請上の留意点、会計検査院の実地検査状況等について、

同補助金については、厳しい国家財政のなか、高等教育における私学振興の重要性や社会的要請等を考慮し、より公正で効果的な助成を行うため、補助項目の見直しや配分基準等の変更等が毎年行われている。特に近年は不交付となつて周知徹底を図るため、

この7か条を習慣として維持した人ほど10年後の死亡率が低いという疫学的調査結果を得た。

本共同研究では、プロスレ1の7項目を妨げる最大の原因が「ストレス」であるという仮説のもとに、次のような研究上の課題について、それぞれの研究方法によって取り組んだ。

1. ストレスを増大させる身体的要因の同定、すなわち食事、睡眠、運動を不規則にする生活上の問題と対処法。
2. ストレスを増大させる心理的要因の同定、すなわち、レクリエーションや趣味をもつこと、

ストレス・マネジメントとして重要なことは、まず自分自身のストレスについて理解することである。ストレスについて理解することは、ストレスに適切に対処する上で最初のステップになる。自分にとってのストレスは何か、どのような状況で

ストレスが高まり、心理的不調が生じるのかを知ることが大切である。これは、ストレスの内容、程度によって、それがどのような不調をもたらすかに大きな個人差があることによる。

次に、ストレスはすべて自分で意識化できるものではないということである。生活上の変化はポジティブな事柄(合格、就職、結婚、昇進)としても生じるのであり、自分では気付かない大きなストレスとなつて心理的健康を損なう原因となる場合もある。

この適正な執行並びに事務の取扱いについて周知徹底を図るため、東京・大阪をはじめ全国7会場で行われる。本学は札幌会場として平成20年以来10回目の開催となった。

説明会は、1日目は午後から基礎編として、補助金制度の概要と事務の流れ及び補助金計算の仕組みについて、

法学部教授 館田 晶子



首相就任以来、憲法改正に前のめりの姿勢を見せてきた安倍首相だったが、自身や自らに近い閣僚に湧き上がった数々の疑惑とそれに対する丁寧さを欠く釈明のために内閣支持率が急落させ、8月の内閣改造によって十分に持ち直すことができずにいる。とはいえ、自民党の覚悟であると同時に安倍首相自身が祖父から受け継

未来展望

憲法改正の条件

者の個人的な思い入れによって憲法改正が進められることには強い違和感を抱かざるを得ない。とくに憲法が権力制限規範であるという立憲主義の観点で見ると、権力者自身が憲法改正に熱心であれば国民は警戒しなげ

改正発議

権が行使される場合の基本的原則について、次のように述べている(「世界」897・P.19)。すなわち、最高法規である憲法の改正は、国民のためとして必要とされる権力行使が憲法の規定によって妨げられない場合や、長期的展望に立つて国民的課題を持続的に遂

権が行使

される場合の基本的原則について、次のように述べている(「世界」897・P.19)。すなわち、最高法規である憲法の改正は、国民のためとして必要とされる権力行使が憲法の規定によって妨げられない場合や、長期的展望に立つて国民的課題を持続的に遂

国民による

国民による、国民のための改正かどうか見極める必要がある。議論は十分に尽くされているのか。本日に憲法改正しか手段がないのか。憲法他の規定との関係に矛盾はないか。国のあるべき姿を長期的に考え行動する見識が、国民に対しても問わ

私立大学等経常費補助金説明会

平成29年度私立大学等経常費補助金説明会(日本私立学校振興・共済事業団主催)が、6月21、22日の両日、本学5号館60番教室において開催され、道内の私立大学及び短期大学の担当者延べ約300人が参加した。

適正な執行の周知徹底

この適正な執行並びに事務の取扱いについて周知徹底を図るため、東京・大阪をはじめ全国7会場で行われる。本学は札幌会場として平成20年以来10回目の開催となった。

説明会は、1日目は午後から基礎編として、補助金制度の概要と事務の流れ及び補助金計算の仕組みについて、

2日目は実践編として、午前中に私立大学等の振興方策の現状等、午後からは一般補助・特別補助及び私立学校等改革総合支援事業の平成29年度の変更点と申請上の留意点、会計検査院の実地検査状況等について、

同補助金については、厳しい国家財政のなか、高等教育における私学振興の重要性や社会的要請等を考慮し、より公正で効果的な助成を行うため、補助項目の見直しや配分基準等の変更等が毎年行われている。特に近年は不交付となつて周知徹底を図るため、

2年生向けアセスメントテスト実施

本学では2016年に引き続き、2017年度ガイダンス時に新2年生を対象とした「アセスメントテスト」を実施しました。

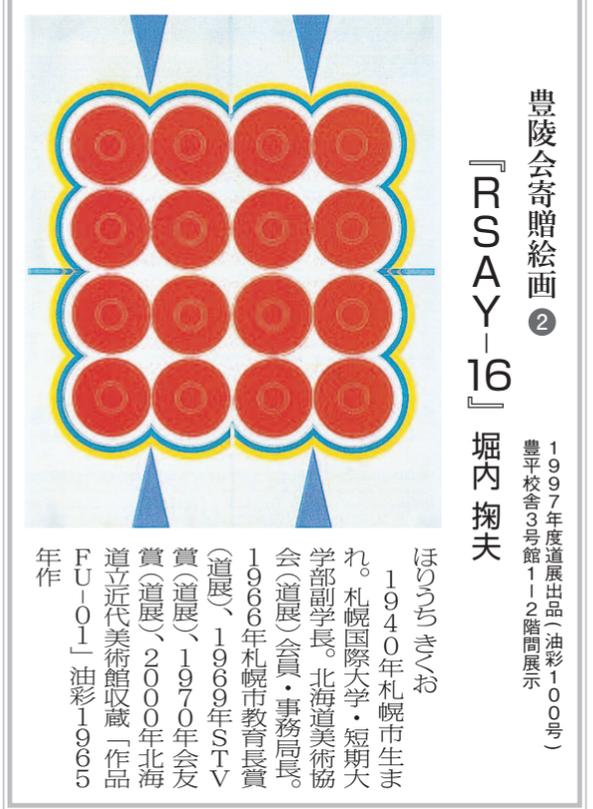
これまでの学生生活を振り返りつつ、「まなぶ」と「はたらく」を深く考え、自らの考えで行動する「まなぶ」を認識してもらつたことを目的としており、講習内ではペアワーク・グループワークなどを通じたアウトプットの訓練やクリティカル・シンキング(行動の質を高める思考)情報発信を軸とした「一度立ち止まって複数の角度から考える思考」を涵養するための訓練なども行いました。

自身の成長度合いをチェック

5月には学生一人一人の分析結果を報告書(「ACTION PLAN NOTEBOOK」)として学生に返却し、続いてその報告書を基に「フォローアップ講習」を開催しました。行い、講習後半は、(株)ベネッセキャリアに「就活のリー

講習前半は、学習支援システム「結果報告書」活用方法の説明、自身の考えを言語化・可視化するためのペアワーク・グループワークを行い、講習後半は、(株)ベネッセキャリアに「就活のリー

本学では今後も継続的に2年次・3年次にアセスメントテストを実施し、学生がこれまでを振り返り、主体的に今後取り組むことを考え、計画を立てて実行するリー



豊陵会寄贈絵画 ② 『RSAY-16』 堀内 掬夫

1997年度道展出品(油彩100号) 豊平校舎3号館1-2階開展示

ほりうちきくお 1940年札幌市生まれ。札幌国際大学・短期大学部副学長。北海道美術協会(道展)会員・事務局長。1966年札幌市教育長賞(道展)、1969年STV賞(道展)、1970年会友賞(道展)、2000年北海道近代美術館収蔵「作品FU-01」油彩1965年作

2017年度 第1回 市民公開講座

未来を創る 生命工学の最前線

〜知能情報から植物デザインまで〜

工学部生命工学科の教員4名による今年度第1回市民公開講座が7月1日、豊平校舎において開催された。医療・環境・食料分野など、ヒトの未来に貢献する生命工学研究を紹介した。

講演1
ブレイン・コンピュータ・インターフェース
脳波でロボットを動かそう
工学部教授 山ノ井 高洋 (知能情報学)

はじめに、一般的な脳機能の左右差等の話題を提供し、その後、研究室でこれまでヒト脳内処理の研究を行ってきた様々な成果を説明しました。特に脳波に数学的な判別技術を用いて、トランプ13枚をイメージ時の脳波を10種の動作イメージを想起した脳波に対しても判別可能となったことから、この動作イメージの脳波によりロボットを操作することを開発中で、近い将来に車椅子動作のイメージでその操作が可能な夢ではないことを示しました。



山ノ井高洋教授

講演2
脳波を活用したアルコール飲酒時と長距離運転時における生理的・身体的特性分析
工学部教授 鈴木 聡士 (人間・環境システム)

脳波を活用した2つの研究成果を紹介しました。一つ目は、アルコールのリラックス効果です。人間のアルコール分解能は遺伝子レベルで3種類(強い、弱い、飲めない)に分類されます。これらの分解能別に、アルコールのリラックス効果が最大となる飲酒量を、α波(リラックス時に多く出現)出現率に基づき分析した結果を提示しました。二つ目は、カフェインとアルギニンが含有されているエナジードリンクの眠気緩和効果について、θ波(ウトウト時に多く出現)出現率とβ波(覚醒時に多く出現)出現率に基づき比較・分析した結果を提示しました。



鈴木聡士教授

本講座では、iPS細胞の再生医療応用のお話をしました。心臓や神経などの細胞を増殖し、臓器の修復に活用するのが狙いです。テレビ等でiPS細胞から作られた心臓の細胞の再生は目の前だ」と思いたく

講演3
植物の力を活かす 遺伝子の解析とその利用
工学部准教授 新沼 協 (植物生理学)

私は「遺伝子」と「DNA」は実際どのようなものなのか、また、どうやって人の社会に役立っているのかについて、植物を例に紹介させていただきます。



新沼協准教授

講演4
細胞工学・iPS細胞由来の心筋細胞に対する力学計測と再生医療応用
工学部准教授 水谷 武臣 (生命科学)

本講座では、iPS細胞の再生医療応用のお話をしました。心臓や神経などの細胞を増殖し、臓器の修復に活用するのが狙いです。テレビ等でiPS細胞から作られた心臓の細胞の再生は目の前だ」と思いたく



水谷武臣准教授

再生医療応用のお話をしました。心臓や神経などの細胞を増殖し、臓器の修復に活用するのが狙いです。テレビ等でiPS細胞から作られた心臓の細胞の再生は目の前だ」と思いたく

第2回 市民公開講座
11/11(土)
ヒトを超える機械たち 人工知能と共存する未来

第3回 地域連携特別講座

共通テーマ「知識の萌芽2017」

大学の教育・研究成果を社会に還元し、地域づくり・まちづくり・人づくり等の貢献を目的とした地域連携特別講座が6月20日、28日、7月5日、北広島市芸術文化ホールで開催された。

6月20日
目的があれば英語も怖くない
経営学部教授 内藤 永

北海道でも外国人を頻繁に見るようになり、身近なところでも外国人とコミュニケーションを交わす機会が増えています。国際共通語としての英語(English as a Lingua Franca)を使う場

6月28日
基礎から学ぶ現代政治・トランプ・シヨックと小池都政
法学部准教授 山本 健太郎

昨年、米大統領選でトランプ氏が当選し、世界に衝撃を与えました。以降、よくも悪くも世界で最も注目されている政治家はトランプ大統領でしょう。政治学では、既



法学部 山本健太郎准教授

7月5日
コミュニティ・カフェって、ナニモノ?
経営学部教授 菅原 浩信

今回は、高校生にも来てもらいたいというご要望があったため、ほぼカタカナのテーマにして、ちょっとだけ



経営学部 菅原浩信教授

今回は、高校生にも来てもらいたいというご要望があったため、ほぼカタカナのテーマにして、ちょっとだけ

講演では、北海学園大学経営学部の学生たちが、この考えに基づいて通訳練習を行い、シンガポール、タイ、香港、アメリカの国際食品展示商談会、北海道の産品を英語でアピールし、通訳する様子が語られました。



経営学部 内藤永教授

昨年の米大統領選でトランプ氏が当選し、世界に衝撃を与えました。以降、よくも悪くも世界で最も注目されている政治家はトランプ大統領でしょう。政治学では、既

経済学部特別講演
経済学部は6月16日、D20教室において「韓国におけるマウルづくりの現状と課題」と題した特別講演会を開催した。講師は、忠清南道マウルづくり支援センター長の具滋仁博士。自身も契約職公務員として携わり、韓国国内でも注目されている鎮安郡の村づくり運動を紹介した。



忠清南道・忠南マウルづくり支援センター長・具滋仁先生

「テロと法 国際法上の自衛権を中心」と題した第43回法学部カフェが7月22日、31番教室で開催され、170名以上の参加者があった。話し手は、城西国際大学経営情報学部非常勤講師で国際法が専門の近藤航先生。聞き手は本学法学部・加藤信行教授、進同・山本健太郎准教授、進同・大滝哲祐准教授。

人文学の挑戦
教員の研究成果を広く社会に還元する人文学部プロジェクトのイベント「第13回人文学の挑戦」が7月23日、紀伊國屋書店札幌本店で行



大森一輝教授(右)とNPO法人世界遺産アカデミー主任研究員・宮澤光氏

「負の遺産をどう生かすか」
大森教授は、「死や苦しみの場所を見たからには忘れない決意と、『なぜ』を問い続ける意思が必要」と話した。宮澤氏は、世界遺産の中の「負の遺産」の位置づけや、登録をめぐる会議での議論を紹介し、「文化遺産」には「光り」と「影」が存在し、その両面を展示・説明する必要がある。負の遺産を訪れ、視点を相対化して考えることで得られるものがある」と話し、さらに「忘れられないこと」の重要性を強調した。

「テロと法 国際法上の自衛権を中心」
近藤先生は、他国に所在するテロに対する軍事行動の法的評価を①テロに対する軍事行動と、②その所在国への軍事侵入の二つの側面に分けて分析。後者のうち、管理不能領域への軍事侵入について、「国連の目的である国際法の平和と安全の維持」(国連憲章第1条)の実現のために必要と認められる場合、現行法と呼ばれているものが本当に現行法なのか、疑問が投げかけられている」と語った。



右から本学法学部・山本健太郎准教授、加藤信行教授、城西国際大学・近藤航先生、本学法学部・大滝哲祐准教授

韓国における村づくり運動
長らく続き、多くの人材が都市に流出した。韓国の地方自治は1990年代から、わずか20余年の歴史である。具先生は、村づくりの4大目標として「生涯学習」、「住民自治」、「経済自立」、「相互扶助」をあげ、「長期的に人材

育成を行うこと。そして、住民と行政、支援する専門組織の三者協力体系を構築し、相互学習で対立や不信の風土を克服すること」を強調した。そして10年を振り返り、「Uターン(外部人材の誘致)者の活躍や、30〜40歳代の活動家の登場、ネットワークによる外部からの刺激が大きかった」と話した。

いま出前講義が おもしろい!

北海学園大学では毎年、教員が高校の教室へ出向いて「出前講義」を行っています。テーマは社会科学、人文科学、自然科学、総合科学の多くの専門分野をカバーし、総合大学ならではの充実した内容となっています。みなさんも、出前講義をのぞいてみませんか？

出前講義で専門教育を模擬体験

学問への関心を持つきっかけに

本学では1999年度から出前講義を実施しています。本年度の講義タイトル数は254。各学部・学科の学問的な特徴などを分かりやすく紹介する「〇〇学とは何か？」というテーマも数多く提供しています。大学の授業の雰囲気を知りたい、学問への関心を持つきっかけにしたい、進学への動機づけにしたいなど、高校からの要望にできる限り応えることができるようアレンジしています。

昨年度は道内外の57校から依頼があり、延べ86人の専任教員が出講して3,316人の高校生に講義を行っています。受講後のアンケートでは、約95%の生徒さんから「大変良かった!」または「良かった!」との好評を得ています。出前講義は高校と大学との連携を深める重要な手段であるとともに、本学への興味を大いに高める機会となっています。

入試部長
元木 邦俊 工学部教授



高校生にとって出前講義とは？

目を輝かせ興味津々の体験型授業

本校で出前講義を「模擬体験授業」という形で取り入れて8年目になります。高校生にとっては、大学の先生と触れ合う初めての機会であり、専門的な勉強のおもしろさにも触れられる貴重な機会です。生徒の反応は非常に正直で、おもしろい話にはみんな目を輝かせます。ロボットを動かしたり、コンピュータを使ったりといった、自分で考えたり、実際に体や手を動かしながら学ぶ体験型授業は、特に評判がよいようです。

私は現在2年生の担任をしておりますが、自分の進路が決まっていなくても、進路そのものにイメージが湧かないという生徒も少なくありません。出前講義は、進路目標を決めるきっかけにもなります。こうした取り組みは本当に大切ですし、ありがたいことだと実感しています。

札幌南陵高校 教諭
東藤 祐司 先生



出前講義を受けて感じたこと

大学生活が具体的にイメージできた!

出前講義で感じたのは、やはり高校と大学の大きな違いです。高校までの勉強は、答えがある問題を解くことでしたが、大学の勉強というのは、答えがない問題に挑むことなんだと。

高校時代は理系だったため、1・2年次は工学部の先生から高分子化学の出前講義を受講。また、全生徒が体育館に集まって、労働問題の講義も受けました。世の中にまだない新技術を開発する話を聞いたり、現実には起きていない社会問題の解決策を考えるなど、とても難しかったのですが、講師の先生の情熱を感じて感動したのを覚えています。

出前講義やオープンキャンパスに参加して、進学後の大学生活がより具体的にイメージできるようになったのは大きかったと思います。進路を考える際にもとても参考になりました。

法学部 1年
北口 晴登



「How do you like wednesday?」 の儲けの仕組み



経営学部
しょうじ たっひさ
庄司 樹古 教授

本学出身の著名タレントとして知られる鈴木貴之さん(法学部中退)と天泉洋さん(経済学部卒業)。彼らによる人気番組「水曜どうでしょう」(How do you like wednesday?)の「儲けの仕組み」について考えるという何ともユニークな授業に、生徒たちの目も輝く。

ところで、「儲けの仕組み」って一体何だろう? 「どんな企業も、ビジネスモデルと呼ばれるものを持つています」と庄司先生。

ビジネスモデルとは、企業がどのように価値(商品)を創造し、顧客に届けるか、つまり「儲けの仕組み」を論理的に記述したもののこと。世の中には数十種類ものビジネスモデルが存在するともいわれるが、今回は、橋樑哲氏が提唱する「ピクト図解」を用いて、代表的なビジネスモデルを勉強してみよう。

① シンプル物販モデル……最も単純なビジネスモデル

② 小売モデル……コンビニやスーパーのように、商品を仕入れて売るモデル。

③ 広告モデル……民放のテレビ局やフリーペーパーのように、無料(低価格)で商品を提供するかわりに、広告料で利益を得るモデル。

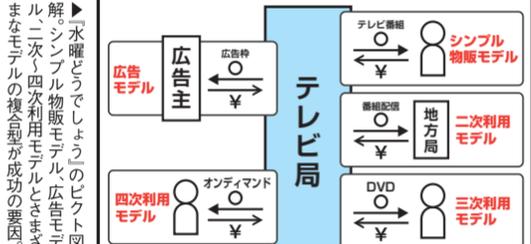
④ 合計モデル……利益率の低い目玉商品でお客様を呼び込み、ついでに利益率の高い商品も買わせて利益を得るモデル。

⑤ 二次利用モデル……マンガ雑誌や単行本、アニメやDVDなど、同じ商品でも何度も形を変えて販売することで利益を得るモデル。

「では、みなさんに問題! 「水曜どうでしょう」は、どんなビジネスモデルで利益を獲得しているか考えてみましょう!」(場所/札幌光星高校)

【本学での学び】
庄司先生から一言

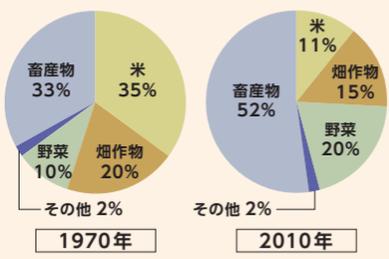
大学では、ビジネスモデル以外にも財務諸表の分析など、さまざまな考察方法を学び、企業がどんな仕組みで「利益」を獲得しているのかを解明していきます。



野菜の流通と産地づくり



経済学部
みやいり たかし
宮入 隆 教授



北海道における農業産出額の変化(1970年と2010年の比較)。この40年の間に大きな変化があったことがわかる。

「みなさん、これ、何の作物かわかりますか?」
広大な畑の写真を見せながら宮入先生がいう。生徒の一人が首を傾げながら「タマネギ?」と答えると、「すごい、正解!」。教室内に笑い声が広がる。

北海道は全国一の野菜の産地である。タマネギも全国一の産出額を誇る。

遠隔地で作られた野菜が私たちの食卓に届くまで

出額ランキングの推移をスクリーンに投影する。北海道の野菜生産が全国一になったのは、実はここ10年程のこと。それ以前には、千葉県や茨城県など

事があった。「減反政策」である。米余りを防ぐため、米の生産を抑制(生産調整)しようという政策で、その影響を最も受けたのが北海道だった。

それ以降、北海道の稲作農家は、複合部門として野菜生産に取り組みむようになった。

【本学での学び】
宮入先生から一言

私の専門は農業経済学、とりわけ農産物の流通や産地形成についてです。大学では、より広く日本の農業政策の変遷や、北海道農業の特徴について学びます。

「みなさん、これ、何の作物かわかりますか?」
広大な畑の写真を見せながら宮入先生がいう。生徒の一人が首を傾げながら「タマネギ?」と答えると、「すごい、正解!」。教室内に笑い声が広がる。

北海道は全国一の野菜の産地である。タマネギも全国一の産出額を誇る。

遠隔地で作られた野菜が私たちの食卓に届くまで

出額ランキングの推移をスクリーンに投影する。北海道の野菜生産が全国一になったのは、実はここ10年程のこと。それ以前には、千葉県や茨城県など

事があった。「減反政策」である。米余りを防ぐため、米の生産を抑制(生産調整)しようという政策で、その影響を最も受けたのが北海道だった。

それ以降、北海道の稲作農家は、複合部門として野菜生産に取り組みむようになった。

また1970年には、日本の農業地図を塗りかえる大きな出来事があった。それは、鮮度保持が難しい特質があり、大消費地から遠い北海道が野菜産地となるには、鮮度保持技術(冷蔵車など)や流通網(高速道路など)の発達が必要だった。

新鮮野菜が私たちの食卓に届くには、生産・集荷・選別・輸送・販売などさまざまな要素がある。身近な野菜を通して流通や社会の仕組みを考えさせられる実に奥深い講義だった。(場所/苫小牧南高校)

多数決による決定の制限

- (1)多数派の決定によっても奪うことのできない権利があるはず。
 - 差別されないこと
 - 個人として尊重されること
 - 人権が保障されること
- (2)不適切な判断で、不適正な結論を導かないために、あらかじめ権力の振るい方を制限しておく。
 - 権力の振るい方を定める法=憲法
 - 憲法のふたつの柱(民主主義と立憲主義)

多数決で決められないこと

法学部 館田 晶子 教授

「最近、多数決で何かを決めたことありますか？」館田先生が尋ねると、一人の生徒が、「行事の出し物を多数決で決めました」「どうしてそういうときは多数決で決めようと思う？」と少し考えながら、「多数決で決めたこととはみんなの意見だから」確かに通常、私たちは多数決はみんなの意見だと思いがちだが、本当にそうなのか。多数決が本当に民意を反映し、多数決で正しい結論を導き出すにはどんな条件が必要なのだろうか。それを原理的に考えていくのがこの講義のテーマだ。

正しい多数決のあり方とは？ 民主主義を原理的に考える

例えば、歴史を振り返っても、ナチス・ドイツのように、民主主義から独裁政権が生まれてしまっているものがある。「コンドルセの定理」



【本学での学び】館田先生から一言

今回は民主主義の原理を考える講義でしたが、大学では、私の専門である憲法の人権規定の話や、さまざまな法律の条文の解釈についても学んでいきます。



人種差別はなくなったのか？

人文学部 大森 一輝 教授

「白人」「黒人」「黄色人種」という言葉があるように、私たちが普段、何となく「人種」というものが存在するかのようになっている。例えば「黒人は身体能力が高い」などといったりするが本当なのだろうか。「でも、その場合の『黒人』って、いったい誰のことなんでしょう」と大森先生は

人種という架空の概念にしばられる私たちの社会

「白人」「黒人」「黄色人種」的には、人類はすべて同じ一つの種(ヒト)に属し、皮膚の色や体格の違いは、最も変化しやすい人間の表層的な形質にすぎない。異なる人種など存在しないのだ。にもかかわらず、「人種」というきわめて曖昧で非科学的な概念が、私たちの考え方に



【本学での学び】大森先生から一言

私の専門はアメリカ史です。本学でも、今回の講義と同じように、人種問題を切り口にしながら、アメリカ史全般について幅広く学んでいきます。



シルクロード名城トルファンにあるオーミン・ホージャモスク(1778年建)

シルクロードの人々

工学部 買買提力提甫 教授

買買提先生は、日本での研究者生活が約30年にもおよぶ在日ウイグル人だ。「今日はみなさんにシルクロードのお話をしたいと思っています」

ウイグルの歴史を通して文明や民族の興亡見渡す

現在、中国の北西部には「新疆ウイグル自治区」と呼ばれる民族自治区があるが、もともとこの地域は、紀元前の時代から多くのオアシス国家が存在し、また、古来より「シルクロード」が通じる東西交通の要衝でもあった。シルクロードという言葉は、ドイツの地理学者リヒト



【本学での学び】買買提先生から一言

本学では、一般教育科目の中国語のほか、国際寒地都市論という授業を開講。北海道も含め、北欧や北米、ロシアなど寒冷地の都市を幅広い視点で考察します。



北海学園大学サイトのQRコード。どの程度塗っても大丈夫が試してみよう。

コード化そして冗長化の役割

—コード化理論の基本—

工学部 菊地 慶仁 教授

私たちは普段、インターネットやメールで文字や画像、動画など、さまざまな情報をやりとりしている。それらはすべて、コンピュータの内部で0か1かの数値として処理されているのを知っている人は多いだろう。このようにさまざまな情報をコンピュータで扱いやすいように、記号で表現できるような体系化するのをコード化という。では、冗長化とは何だろうか？

QRコードは多少汚れてもなぜ機能するのか？

「まず、みなさんに試してほしいのですが、そういった先生は、北海学園大学のサイトにつながるQRコードが印刷された紙を掲げる。これをシャープペンシルで塗りつぶして、どれくらい塗っても正しく読み取れるか試してみてください」



【本学での学び】菊地先生から一言

今回は高校生にもわかりやすい「誤り発見技術」を紹介しましたが、大学ではより高度な数学の勉強を重ねて、情報通信の知識や技術を幅広く深めていきます。

2017年度 主な出前講義	テーマ・担当教員
北海道の未来を経営学で拓く～北海学園大学経営学部最新情報～	経営学部 佐藤大輔教授
ヒット商品の作り方をみんなで考えてみる	経営学部 伊藤友章教授
途上国の水事情	工学部 山本裕子准教授
コカ・コーラの強さのヒミツを教えます!!	経営学部 今野喜文教授
1杯650円のラーメンは1日に何杯売れば利益がでるか?	経営学部 関谷浩行准教授
「高校と大学」「経済学と経営学(商学)」の違いについて、大学での勉強や研究について	経営学部 佐藤大輔教授
100円ショップの儲けの力・ラ・クリ	経営学部 関谷浩行准教授
英語の発音を上達するための実用的音声学	人文学部 米坂サツナ教授
新幹線が北海道に来る	工学部 上浦正樹教授
「法」が先か「政治」が先か	法学部 菅原肇格教授
あなたはユニクロとしまむらの違いがわかりますか?!	経営学部 今野喜文教授
法学部で学ぶということ	法学部 菅原肇格教授
SNSと刑法	法学部 神元隆賢教授
なぜ、あの会社は儲かるのか?～アムトラックのビジネスモデル～	経営学部 庄司樹古教授
法と正義	法学部 菅原肇格教授
北海道の河川の特徴と歴史	工学部 余湖典昭教授
「空気による暖房と給湯」～ゼロエネルギー住宅をめざして～	工学部 佐々木博明教授
ヒット商品はいかに生み出されるのか?!	経営学部 今野喜文教授
学校と民法	法学部 谷本陽一准教授
経営学は、エキサイティングで、クリエイティブな学問だ!	経営学部 佐藤大輔教授
空気による暖房と給湯	工学部 佐々木博明教授
クセから探る、私たちの行動パターン	経営学部 田中勝則講師
グローバル企業ではどのような英語が使われているの?	経営学部 内藤永教授
大学と職業を考える講話	法学部 谷本陽一准教授
身近な法律について	法科大学院 矢吹徹雄教授
「新しさ」を生み出す学問としての経営学	経営学部 佐藤大輔教授
芥川龍之介も太宰治も…作家はみんな「検閲」をうけていた	経営学部 田中勝則講師
これだけの若者の雇用～ブラックバイト問題から考える～	経営学部 川村雅則教授
世界に出よう	経営学部 菅原肇格教授
「メロスはなぜ走ったか?」	法学部 川谷茂樹教授
「カントで太宰を読む」	法学部 川谷茂樹教授

2017年度 受講後のアンケート (回答合計 254人)

92.1%の高校生が、「非常に良い」または「良い」と回答しました!

身近なテーマで、経済学という今までの自分の概念をいい意味で変えてくれた講義でした。(2年男子)

ただ受け身で授業を受けるだけでなく、実際に声に出してみたり、アクティブラーニングで楽しかった。(2年女子)

法学部で勉強すること、日常での法律との関係について詳しく知ることができて、とても興味を持つことができました。(1年男子)

北海学園大学のこのについても詳しく教えてもらったり、質問したりしてもらえたから、講義に参加しやすかった。(3年女子)

高校の授業ではふれられないテーマだったので、自分の知らないことがたくさんあり、とても面白い講義内容だった。(3年女子)

国際的な統計データと日本の現状を見たあと、途上国の現状を見ることがわかりやすく比較できた。(3年男子)

2016年度実績 / 派遣57校・105講義 受講者数延べ3316名



本学発祥の地となった旧札幌商業高校の校舎の前で(現3号棟。法学部のゼミなどで使用されている)

宮崎さんは、1952年、道内初の4年制私大として開学した本学に入学した最初の学生である。卒業後は、長らく出版・編集畑を歩んだことから、86歳の現在も同窓生向けの季刊紙『Pioneer』を発行するなど、本学出身者のパイプ役として有名な存在だ。

宮崎さんは、1952年、道内初の4年制私大として開学した本学に入学した最初の学生である。卒業後は、長らく出版・編集畑を歩んだことから、86歳の現在も同窓生向けの季刊紙『Pioneer』を発行するなど、本学出身者のパイプ役として有名な存在だ。

「やっぱり、パイオニア精神でしょね」

学園人脈記

第1回

宮崎文彦氏

経済学部経済学科 昭和30年度卒・3期生

本学は1952年の創立以来、これまで8万5千人を超える卒業生を輩出してきた。文化、経済、政治、その他の多方面で活躍する卒業生たちの顔ぶれを思い浮かべるとき、その多彩さ、ユニークさは群を抜く。彼らの若き日を培ったであろう本学の風土、学風とほどのようなものか。また、それぞれの人生にとって本学で学んだことの意義とは何だったか。そうしたテーマを探るべく、新連載「学園人脈記」をお送りする。

宮崎さんが口にする「パイオニア精神」とは、第一回入学式での上原敏三郎初代学長の告辞に由来する。

胸に刻むはパイオニア精神

4年生になるときのことだ。宮崎さんは在学中に、北海学園大学新聞を創刊、初代会長を務めたが、「当時の学生はたいてい、『北海学園大学？ 北大なら知っているが、そんな大学知らない』といわれたものです(笑)。だから先生や自治会、新聞会の学生なんかが集まるとは、どうすれば良い大学になるか、知恵を出し合ったものでした」

しかし、学生たちの多彩ぶりはスタート時から際立っていた。例えば、宮崎さんと同じ3期生には、後に作曲家として一躍時代の寵児となる彩木雅夫氏(代表作は内山田洋とクールファイブ)「長崎は今日も雨だった(など)」がいたほか、2期生にも、株式会社ナシオを牽引する名塩良一郎氏や、長らく北海道議会議員を務めた高木繁光氏(2013年死去、本学の母体・学校法人北海学園理事長として日本の私学振興に力を注ぐ経済学者・森本正夫氏らがいたのである。

配関係について論じ、権力の一つの起源として母すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を生み出すことで子に対する父権を持ち、それが王権と

わち女性が女性として本来持つ性質が重要なものではなく、すべての権力は支配と成していく過程を示すものでした。

天皇を男性に限るといふ議論がまかり通り、いまだに女性が女性であることによりさまざまな困難を抱える社会を見る時、ホッブズのこうした論理の展開を学ぶことで、男女による平等な社会を構想するヒントが与えられる。彼の議論はそれを可能にする豊かさを持っているのです。

「トマス・ホッブズの母権論 国家の権力 家族の権力」 法政大学出版局 2017年

「トマス・ホッブズの母権論」 中村敏子

本書は、社会契約による国家の設立を論じたトマス・ホッブズが、母権すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を

配関係について論じ、権力の一つの起源として母すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を

海学園札幌高校)の2階を借りて行われ、札幌の生徒からは「お二階さん」と揶揄するようには呼ばれた。また、宮崎さんからは1期生のはずが、なぜか「3期生」だった。前々年に開学した北海短期大学が4年制に昇格しての認可だったため、短大生が2〜3年生に進級したからだと、時代的にも戦後の荒廃から十分に立ち直りきれない時期であり、集まった学生の中には、戦地から復員した人や炭鉱夫だった人もいた。また、本学が開学するまで、道内に4年制私大は皆無であり、本州の大学に進学できる裕福な家庭の子以外、進学など望めない時代だった。宮崎さん自身、国立大受験に二度失敗し、小学校の代用教員を務めながらの進学だったという。

ともあれ、「自前の校舎で学びたい」が学生たちの切なる願いとなり、率先して校舎建築資金の募金活動を行うなど、まさにパイオニア精神を發揮。学生と大学当局が一体となった努力が実り、初の校舎が完成したのは、1955年

宮崎さんら3期生が

1955年に完成した新校舎(現1号館)

4年生になるときのことだ。宮崎さんは在学中に、北海学園大学新聞を創刊、初代会長を務めたが、「当時の学生はたいてい、『北海学園大学？ 北大なら知っているが、そんな大学知らない』といわれたものです(笑)。だから先生や自治会、新聞会の学生なんかが集まるとは、どうすれば良い大学になるか、知恵を出し合ったものでした」

「トマス・ホッブズの母権論 国家の権力 家族の権力」 法政大学出版局 2017年

「トマス・ホッブズの母権論」 中村敏子

本書は、社会契約による国家の設立を論じたトマス・ホッブズが、母権すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を

配関係について論じ、権力の一つの起源として母すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を



1955年に完成した新校舎(現1号館)

母校の職員として今年度から勤務

北海道大学 経済学部 書記 安達 丈

法学部政治学科 平成26年度卒・13期生



今年の4月から北海学園大学の職員として勤務し始め、5カ月が経過しました。この5カ月間は、新たな知識やスキルの習得、様々な職員研修があり、あっという間に過ぎ去っていきましました。現在、経済学部で教務を担当し、学生対応や事務作業等に没頭する日々を過ごしています。



2年越しに叶った夢

年越しに叶い、今年の4月から北海学園大学の職員として働くことができています。

転職という、いわば人生の大きな分岐点に20代で立ち、決断するということは決して簡単なことではありませんでした。しかし、後悔はありません。学生や職員と接する日々の中で、職員になることのできた喜びをひしひしと感じています。

また、大学職員としてだけではなく、部活動を通じて北海学園大学に貢献することも、私の果たすべき役割だと考えています。私がコーチを務めている男子バスケットボール部は、昨シーズン数十年ぶりに2部へ降格しましたが、部活動が大学の魅力の一つであるというところは言うまでもありません。部活動は十分に広報活動になりうると思っています。勉強・就職・部活動」の3本柱をより強く

強固なものにすることができれば、さらに盤石な北海学園大学を築き上げていけると思います。男子バスケットボール部を再建します。

次年度以降は、いつ教わる立場から教える立場に変わるか予想もできません。ですが、来るべき日がいつ何時来ても対応できるように1年間を大切に、多くの知識やスキルを習得します。そして数十年前の北海学園大学を支える歯車の一つになるため、日々精進します。

自著を語る

法学部教授 中村 敏子

本書は、社会契約による国家の設立を論じたトマス・ホッブズが、母権すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を

男女平等社会のヒントがここに

配関係について論じ、権力の一つの起源として母すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を

「トマス・ホッブズの母権論 国家の権力 家族の権力」 法政大学出版局 2017年

「トマス・ホッブズの母権論」 中村敏子

本書は、社会契約による国家の設立を論じたトマス・ホッブズが、母権すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を

配関係について論じ、権力の一つの起源として母すなわち女性が持つ権力を論じた。これは、当時イングリッドで唱えられていた王権神授説すなわち王の権力は神によりアダムに与えられたが、彼が父として子を

同窓会 INFORMATION

第10回 ホームカミングデー

10月7日(土) 10:00~14:30 (受付 9:30~13:00 7号館1階エントランス)

講演 第5回「学園かえるカフェ」北の住まいと暮らしを楽園にかえるカフェ 時間: 10:00~12:10 会場: 7号館 2階 D20番教室
1講目 藤島 喬氏 (建築家)「冬の住処・終の住処の北海道デザイン」
2講目 赤坂 真一郎氏 (建築家)「建築家のすまいぶり: 小さな家で豊かに暮らす」
3講目 ブズドゥガン・アリオナ氏 (タレント/ロシア語通訳)「サハリンの冬暮らし・札幌の冬暮らし」
他出演 米田 浩志 工学部教授 (建築家) 進行 樽見 弘紀 法学部教授

毎年大好評! 「無料カイロ施術」 10:00~16:00/生協食堂内スペース
学食でランチ 12:00~14:30/生協食堂
写真部OB会写真展 11:00~17:00 1号館 1階 入試部前スペース 10月7日~9日の3日間開催!

「北海マルシェ」産直~学園大OBによる野菜と果物即売会・特産品販売 12:30~売り切れ次第終了/7号館前 特設テント

総会・懇親会「同窓の夕べ」

10月28日(土) (受付 17:30~ (開場) 18:00~)

会場 札幌パークホテル 3階 パークホール 総会/18:00~18:30、同窓の夕べ/18:30~20:30

会券 5,000円(税込)

◆お楽しみイベント
○北海学園大学よさこいソーランチーム 演奏
○藤島 喬氏 ドリフトクイーン ライブ
○北海学園大学全学応援団指導部 演奏
○学園グレイトピンゴ
海外へア旅行、温泉旅行へ宿泊券、劇団四季招待券、空気清浄機など豪華景品が多数!

お問い合わせ 北海学園大学同窓会事務局 TEL 011-841-1161(内1148-1168)



文学研究科長 菅 泰雄 教授

菅先生 昨今、人文学系学問軽視の逆風が吹いていますが、産業界では必ずしもそうではないと気づいて

菅先生 普段なかなかできない仕事が多まっています(笑)。最近では北海道の道南地方の方言談話の音声資料を文字化して、その後分析する予定です。

菅先生 昨日の過ごし方は？ 菅先生 普段なかなかできない仕事が多まっています(笑)。最近では北海道の道南地方の方言談話の音声資料を文字化して、その後分析する予定です。

文学研究科の特色は？ 菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

今こそ新人文学を

菅先生 英米文化専攻からまだ課程博士が出ていないので、これを一刻も早く輩出したいと思っています。それから、院生の数を増やすことです。今までは、研究者を志望する人と、学部を卒業して社会に出てからもっと専門的知識や研究が必要だということから大学院に来る人と、2つのタイプがありました。しかし、これからは大学院教育のあり方を見直し、リカレント教育など新たなニーズを掘り起こしていかなければと考えています。

菅先生 大学院では少人数で濃密な教育を受けることができませんが、一方で院生同士、刺激しあう機会が少ないので、学部生を巻き込んだ勉強会や研究会を開いたり、また、積極的に学会発表をして研究者同士の交流を広げてほしいですね。

菅先生 大学院では少人数で濃密な教育を受けることができませんが、一方で院生同士、刺激しあう機会が少ないので、学部生を巻き込んだ勉強会や研究会を開いたり、また、積極的に学会発表をして研究者同士の交流を広げてほしいですね。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

新 研究科長に聞く!!

今年度就任した大学院経営学研究科長・大平義隆教授、文学研究科長・菅泰雄教授、工学研究科長・佐藤哲身教授に抱負などを伺った。

佐藤先生 工学研究科は建設工学専攻と電子情報生命工学専攻の2専攻体制で、母体となっている学科は、建設工学が社会環境工学科と建築学科、電子情報生命科が電子情報工学科と生命工学科です。工学研究科の担当教員は35名と決して多くはありませんが、専門領域は実にさまざまです。特に

佐藤先生 工学研究科は建設工学専攻と電子情報生命工学専攻の2専攻体制で、母体となっている学科は、建設工学が社会環境工学科と建築学科、電子情報生命科が電子情報工学科と生命工学科です。工学研究科の担当教員は35名と決して多くはありませんが、専門領域は実にさまざまです。特に



経営学研究科長 大平 義隆 教授

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

地域や社会との連携強化へ

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。



工学研究科長 佐藤 哲身 教授

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

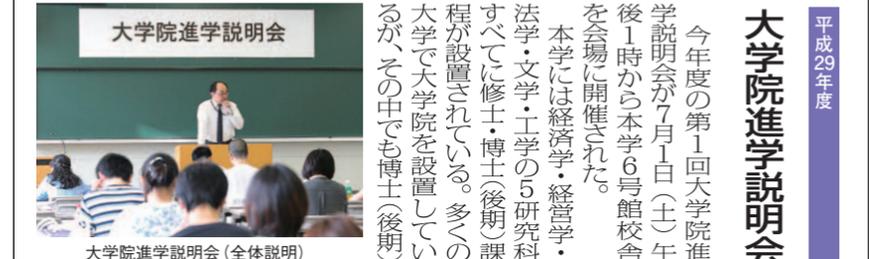
菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。



工学研究科長 佐藤 哲身 教授

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。



大学院進学説明会 (全体説明)

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。

菅先生 文学研究科は新人文学を理念として開設した。人間至主義の価値観にたつた人文主義が行き詰まり、もう一度人間とはなにか、人間とはどう存在するのかを問い直そうというのが新人文主義です。



休憩中の牧羊犬。仕事がないと退屈でたまらない(提供:筆者)

ニュージーランド 留学体験記



河崎 秋子

犬の区別と尊重

羊飼いとって、羊の次に大事な動物は犬だ。そう、牧羊犬である。(ちなみに二番目はたぶん馬だ。世界中をみると、山岳地帯や湿地帯などで馬に乗った羊飼いが活躍する機会はまだまだ多い)

日本では一軒あたりの羊が少ないため牧羊犬はあまりみられないが、NZの綿羊農家は規模が大きいだけに、各数頭、大きい牧場では

羊飼いは笛や口笛、声によって犬たちに指令を出し、何百頭何千頭という羊を誘導して行く。主人の命令を守り、長時間集中して仕事に取り組み牧羊犬たちはまさに使役犬。仕事のために存在し、人間と仕事することを喜びとするプロフェッショナルだ。

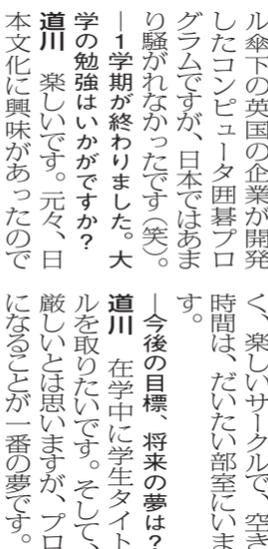
さて、牧羊犬はなにも羊の前に引かざれば自然と羊達を誘導できる訳ではない。まず親同士の組み合わせから考えて交配され、産まれた子犬は、よく吠えるのが一般的で、人間を信頼する個体を「他の犬と仲良くやれる奴が望ましい」といった数々の基準をもとに選ばれ育てられる。大抵は農家同士で好みの子犬をやりとりするが、

さて牧羊犬とは別に、ペットとして犬を飼う農家も多い。ペット犬は最低限の躾こそきちんとしているが、基本的に甘やかすための犬という感じだ。牧羊犬は屋外の犬舎で生活するのに対し、ペット犬は家の中も自由に出入りし、寝る時は主人のベッドと一緒に眠ったりもする。

牧羊犬は仕事のパートナー。ペット犬は生活の家族の一員。役割の境界線は厳然と引かれ、同じ犬でありながら扱われ方も愛され方もそれぞれだった。

生き物は大事にして等しく愛情を注ぎましょう、という風潮の日本からみるとこちらのやり方に驚くことはあるが、それらは「区別」ではあっても決して「差別」ではない。むしろ、その「区別」こそが、それぞれの犬を最大限に尊重する在り方だったのかな、と今にして思う。

【経済学部平成13年度卒・49期生】



人文学部日本文化学科1年 道川 伊織 碁研究会

碁はいつから始めたのですか？
そのきっかけは？

道川 小学5年の終わり頃からです。テレビで「ヒカル碁」というアニメの再放送を見ておもしろそうだなと。最初は独学で、その後、子供の友達の力でも、全然考え方が

教室に通って習いました。学生本因坊にはどのような気持ちで臨まれましたか？

道川 強い人と打つと勉強になるので、勉強に行くという気持ちで、良い結果を残すという目標で臨みました。

碁のどのところがおもしろいのですか？

道川 碁は、陣取りゲームです。一手一手の良い悪いの基準は人の感覚でしかわからなくて、人によっていろいろな打ち方、やり方がある。そこがおもしろいです。同レベルの力でも、全然考え方が

学生部 INFORMATION

第1回 北海学園大学ビブリオバトル 参加者募集

全国ビブリオバトル2017首都決戦の予選会も兼ねています。

10/4 水 14:20-16:30

■場 所: 2号館1階11番・12番・13番教室
 ■募集対象: 学部生 ※院生、研究生、科目等履修生は対象外
 ■申込方法: メール biblio@hgu.jp 下記内容をメール本文に記入のこと
 ①学部②学科③学年④学生番号⑤氏名(ふりがな)⑥参加希望の種類(発表者か司会者)
 ■募集期間: 7月18日(火)~9月26日(火)
 ■募集人数: 発表者15名程度/司会者3名
 ※定員になり次第締切となります
 動画でビブリオバトルの流れを見たい方はコチラ→
 公式WEBサイトは <http://www.bibliobattle.jp/>

北海学園大学 フォトコンテスト

■2017年度 募集テーマ ①「開拓者精神」②「多様性」③「集中力」
 ■応募方法: メール photocon@hug.jp 応募写真はデジタルデータのみ、1通のメールに写真1枚添付
 ■募集期間: 8月1日(火)~11月30日(木)
 ■賞品: 学長賞(1点)①LifePrint写真/ビデオ用プリンタとシール式フォトペーパーのセット ②ギフト券2万円分 いずれかを選択
 審査員賞(3点) 商品券5,000円
 入賞(10点程度) 商品券1,000円
 詳細は募集要項をご覧ください。 <http://www.hgu.jp/>

6月5日~23日の期間、本学協定校であるカナダ・レブリッジ大学より引率の教授と14名の交換研修生を受入れました。

本プログラムは、隔年で学生の派遣・受入を交互に行う事業であり、今年度は本学での受入年度に当たり、北海道大学と受入合同実行委員会を組織して準備を行ってきました。

本プログラムは、主に午前の講義と午後の文化体験で構成され、講義は「日本語研修」と「日本学研修」で座学の他、フィールドワークも行いました。

文化体験では、北海道や札幌市への表敬訪問、YOSA KOIソラン祭の見学、餅つき・茶道体験等に参加し、学協定校であるカナダ・レブリッジ大学より引率の教授と14名の交換研修生を受入れました。

本プログラムは、隔年で学生の派遣・受入を交互に行う事業であり、今年度は本学での受入年度に当たり、北海道大学と受入合同実行委員会を組織して準備を行ってきました。

本プログラムは、主に午前の講義と午後の文化体験で構成され、講義は「日本語研修」と「日本学研修」で座学の他、フィールドワークも行いました。

文化体験では、北海道や札幌市への表敬訪問、YOSA KOIソラン祭の見学、餅つき・茶道体験等に参加し、学協定校であるカナダ・レブリッジ大学より引率の教授と14名の交換研修生を受入れました。



浴衣をきて日本文化を満喫(登別伊達時代村にて)

6月5日~23日の期間、本学協定校であるカナダ・レブリッジ大学より引率の教授と14名の交換研修生を受入れました。

本プログラムは、隔年で学生の派遣・受入を交互に行う事業であり、今年度は本学での受入年度に当たり、北海道大学と受入合同実行委員会を組織して準備を行ってきました。

本プログラムは、主に午前の講義と午後の文化体験で構成され、講義は「日本語研修」と「日本学研修」で座学の他、フィールドワークも行いました。

文化体験では、北海道や札幌市への表敬訪問、YOSA KOIソラン祭の見学、餅つき・茶道体験等に参加し、学協定校であるカナダ・レブリッジ大学より引率の教授と14名の交換研修生を受入れました。

ロシア 交換留学生 修了式挙行

交流協定校である、ロシア・ノボシビルスク大学、シベリア交通大学、サハリン大学、ウラチーニル大学より本年4月に迎え入れた留学生10名に対し、6月22日修了式が挙行された。

修了式では安酸学長より記念品が、寺田吉孝ロシア協定校専門委員長からは修了証書がそれぞれ授与され、今後も日本語能力を高め、日露両国の架け橋になってほしいという言葉が贈られた。

道内読書環境の実態報告

最後に企画委員が、交流会について特別に内容を報告し、研究会が終了した。

なお、この研究会については、記録誌として纏められ、翌年に北海道地区大学図書館協議会の加盟大学図書館に配付される。

今年、本学附属図書館が研究会企画委員会委員長を担当し、8月9日(水)本学7号館において第60回北海道地区大学図書館職員研究会を実施した。この研究会は、道内の国公立・私立大学の図書館からなる北海道地区大学図書館協議会(参加大学39校)が主催しており、当日は27大学57名が参加した。

研究会は、まず本学附属図書館長の大谷通順先生の挨拶から始まり、最初に一般社団法人「北海道ブックシェアリング」(本部・札幌)代表、荒井宏明先生の講演「『ワースト1? 北海道の読書環境』が行われた。北海道内の各地域における読書環境について、実に約3分の1の自治体に書店が無く、学校図書館の整備に関し小学校においては全国ワースト1であるといった実態が報告された。普段聞かない道内の図書館の現状や、それに対する活動について興味深いお話を聞いた。

次に、参加者が職種によって6つの班に別れ、自由にトークセッションを行う「交流会」で、それぞれ普段の仕事内容を報告、また他大学の状況などを伺い、それについて質問をするなど、参加者は自大学にはないさまざまな事例について、今後の業務に繋げられるべく活発な意見交換を行った。

第60回 北海道地区大学図書館職員研究会

今年、本学附属図書館が研究会企画委員会委員長を担当し、8月9日(水)本学7号館において第60回北海道地区大学図書館職員研究会を実施した。この研究会は、道内の国公立・私立大学の図書館からなる北海道地区大学図書館協議会(参加大学39校)が主催しており、当日は27大学57名が参加した。

研究会は、まず本学附属図書館長の大谷通順先生の挨拶から始まり、最初に一般社団法人「北海道ブックシェアリング」(本部・札幌)代表、荒井宏明先生の講演「『ワースト1? 北海道の読書環境』が行われた。北海道内の各地域における読書環境について、実に約3分の1の自治体に書店が無く、学校図書館の整備に関し小学校においては全国ワースト1であるといった実態が報告された。普段聞かない道内の図書館の現状や、それに対する活動について興味深いお話を聞いた。

次に、参加者が職種によって6つの班に別れ、自由にトークセッションを行う「交流会」で、それぞれ普段の仕事内容を報告、また他大学の状況などを伺い、それについて質問をするなど、参加者は自大学にはないさまざまな事例について、今後の業務に繋げられるべく活発な意見交換を行った。

